

洪水や高潮に対する備えは十分ですか？

佐賀平野大規模浸水危機管理計画

県内に記録的集中豪雨

1人死亡、1人が行方不明



24日に発生。佐賀県内各地に記録的集中豪雨が降り、各地で浸水被害が発生。24日午後、佐賀市内の繁華街で、浸水した道路を歩く人々。24日午後、佐賀市内の繁華街で、浸水した道路を歩く人々。

1万3000戸が浸水
各地で土砂崩れ、決壊

佐賀県内各地に記録的集中豪雨が降り、各地で浸水被害が発生。24日午後、佐賀市内の繁華街で、浸水した道路を歩く人々。24日午後、佐賀市内の繁華街で、浸水した道路を歩く人々。

平成2年7月3日 佐賀新聞

国道34号浸水状況(平成2年7月)



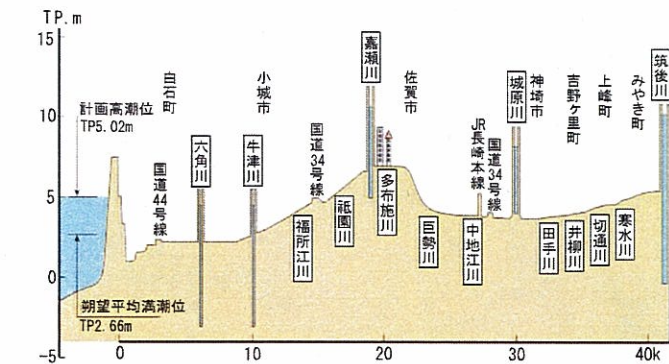
芦刈海岸高潮被害(昭和60年台風13号)



佐賀平野大規模浸水危機管理対策検討会

平成22年9月作成

洪水氾濫や高潮被害を受けやすい佐賀平野



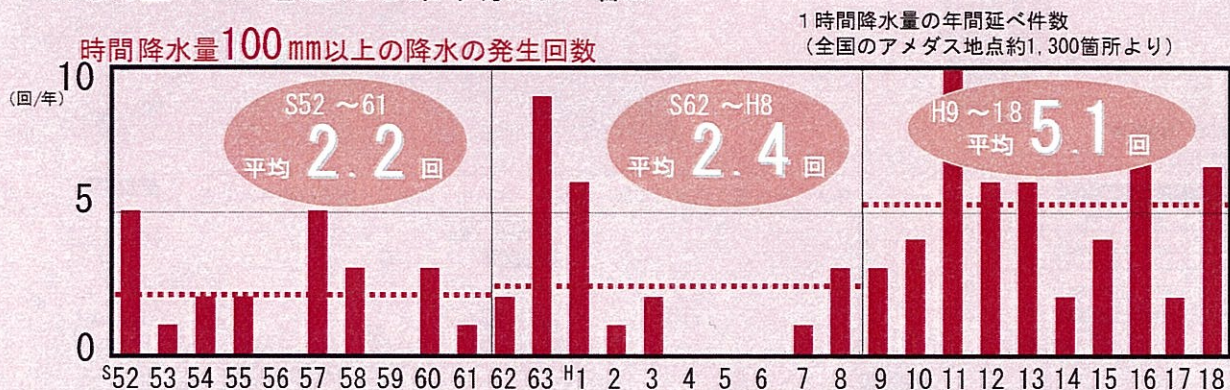
佐賀平野を横から見ると、河川が最も高い位置にあり、一度河川が氾濫すると甚大な被害になる



平成2年7月出水の浸水状況

想定外の洪水や高潮の可能性

時間雨量100mmを超える集中豪雨が増加

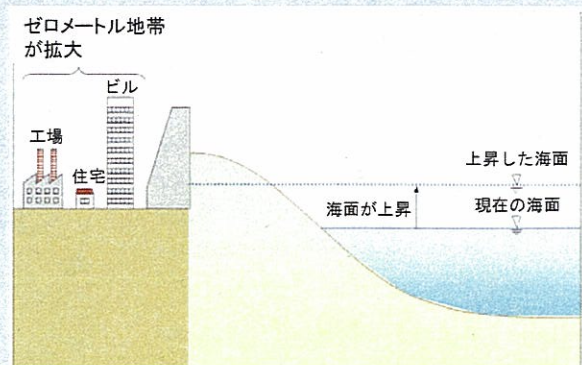


温暖化により海面上昇で災害の危険性が増大

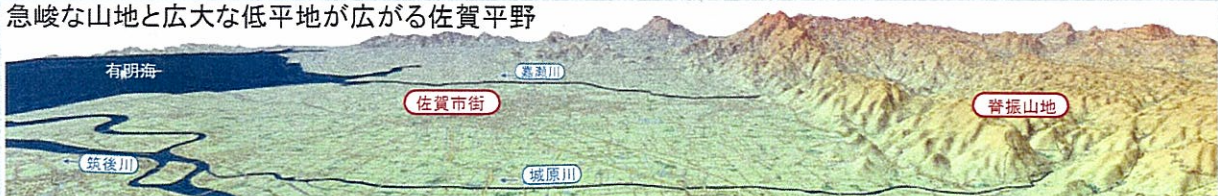
海面が上昇することにより、ゼロメートル地帯(居住地側の地盤高が海面に対して低くなる地帯)が拡大



高潮による浸水範囲が広がり、一度氾濫すると長期にわたって浸水が続く



急峻な山地と広大な低平地が広がる佐賀平野



嘉瀬川浸水状況

(佐賀市街地拡散型氾濫：左岸15.0km)

破堤直前までの浸水状況



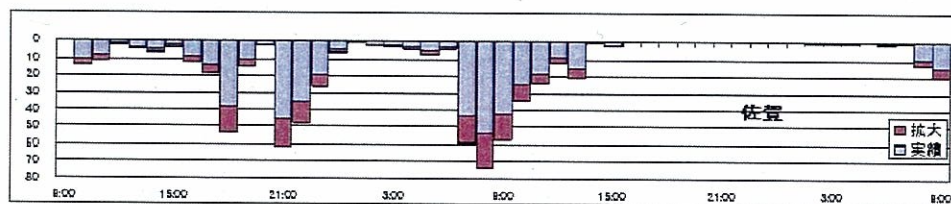
降雨開始2時間後



降雨開始5時間後



降雨開始8時間後
(破堤直前)



→ 降雨開始8時間後

→ 降雨開始5時間後

→ 降雨開始2時間後

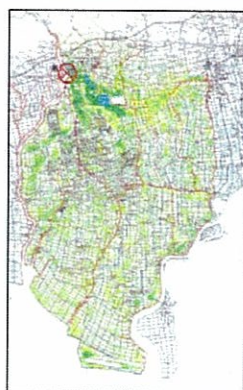
凡例

- ⊗ 想定決壊箇所
- 0.00 - 0.10m未満の区域
- 0.10 - 0.20m未満の区域
- 0.20 - 0.30m未満の区域
- 0.30 - 0.50m未満の区域
- 0.50 - 0.75m未満の区域
- 0.75 - 1.00m未満の区域
- 1.00m以上の区域

破堤後から概ね浸水解消までの浸水状況



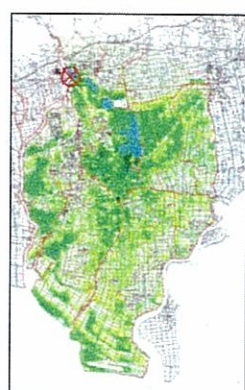
1時間後



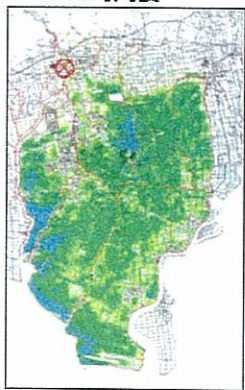
3時間後



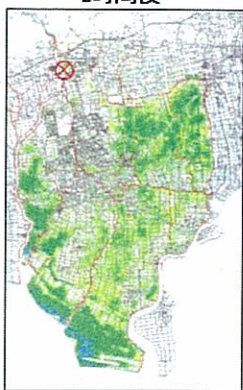
6時間後



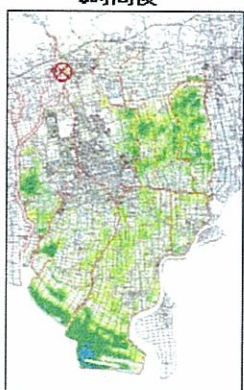
12時間後



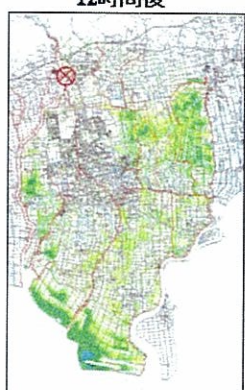
24時間後



48時間後



72時間後



120時間後

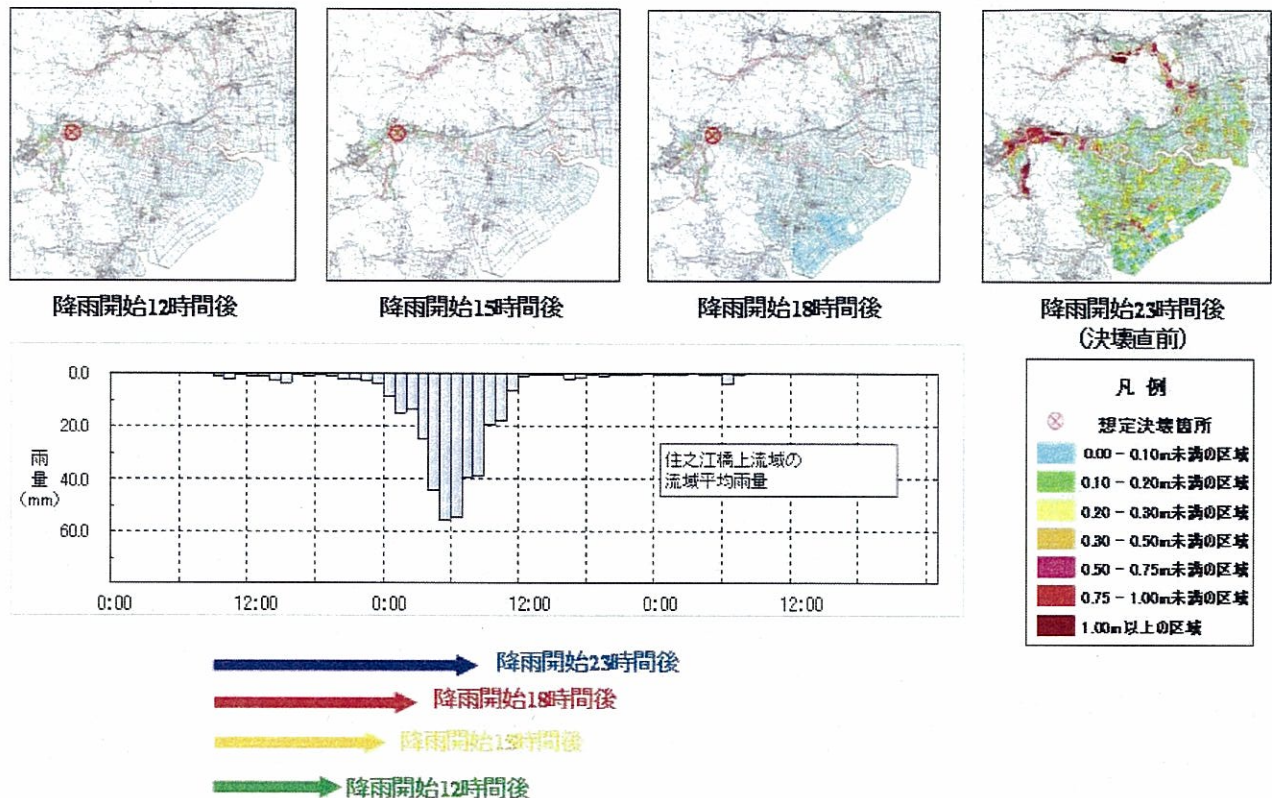
凡例

- ⊗ 想定決壊箇所
- 0.0 - 0.1m未満の区域
- 0.1 - 0.3m未満の区域
- 0.3 - 0.5m未満の区域
- 0.5 - 1.0m未満の区域
- 1.0 - 2.0m未満の区域
- 2.0 - 5.0m未満の区域
- 5.0m以上の区域

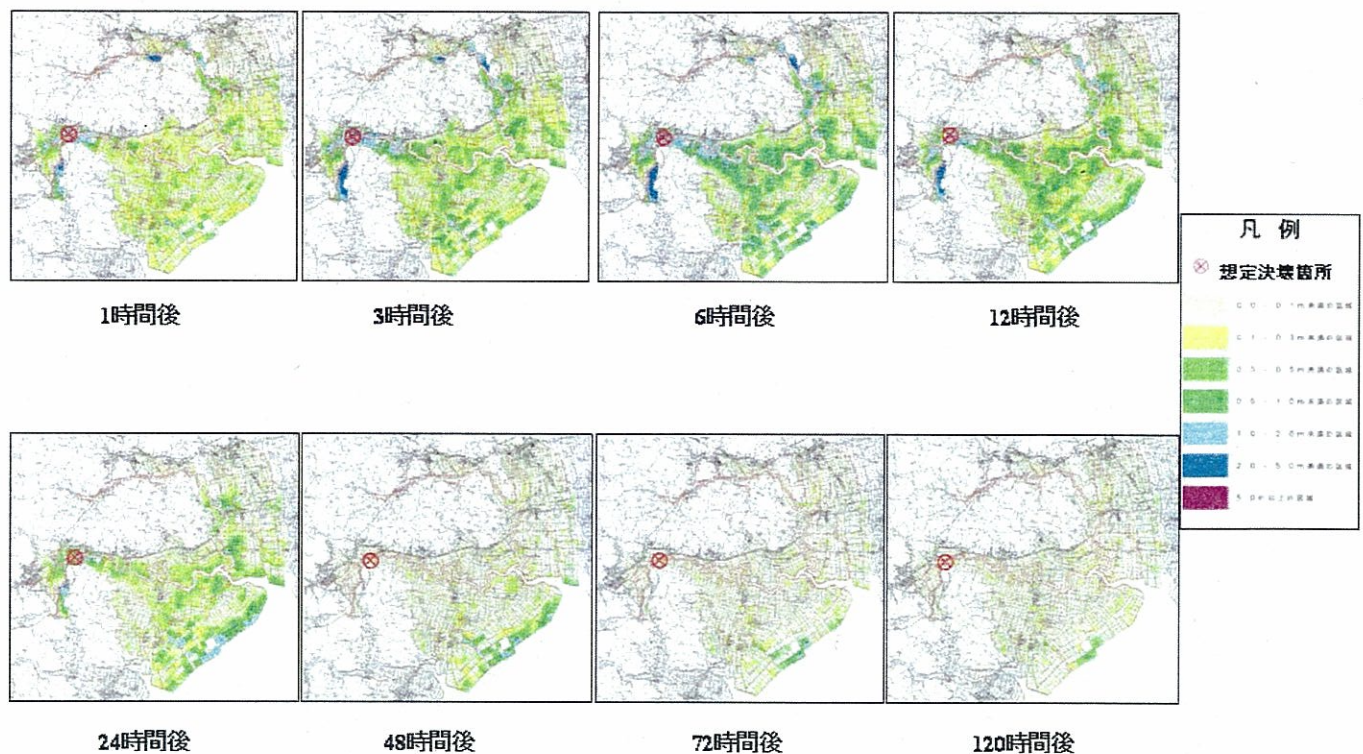
六角川浸水状況

(六角川下流右岸はん濫 地点：六角川右岸25.0km)

決壊直前までの浸水状況



決壊後から概ね浸水解消までの浸水状況



佐賀平野大規模浸水危機管理計画

危機管理計画のポイント

①いち早い被害状況の把握



③迅速な応急復旧対策



②すみやかな避難誘導



大規模浸水時における防災・減災の取り組み

①情報収集・伝達

番号	項目	参加連携機関			
		国	県	市町	民間
1	ラジオによる情報伝達	○	○	○	○
2	防災情報総合掲示板	○	○	○	○
3	ヘリテレによる画像の生中継	○	○	○	
4	CCTV画像による浸水状況把握	○	○	○	
5	民間からの情報提供	○	○		○
6	リエゾン制度	○	○	○	
7	高速道路における道路情報等の提供	○	○		○
8	河川・防災情報表示板の設置	○	○	○	○
9	地上デジタルテレビ放送を活用した河川防災情報提供	○			○
10	ケーブルテレビ放送を活用した河川防災情報提供	○		○	○
11	気候変化のモニタリング	○			

③連携強化

番号	項目	参加連携機関			
		国	県	市町	民間
1	避難所整備ガイドライン		○	○	
2	避難所の位置及び構造の評価	○	○	○	
3	防災まちづくり	○	○	○	
4	実務者連絡会の実施	○	○	○	○
5	マスコミとの勉強会の実施	○	○	○	○
6	避難行動計画の策定支援	○		○	
7	避難勧告、指示判断基準の策定訓練	○	○		
8	危機管理対策訓練の実施	○	○	○	○
9	ボランティアと連携した救助体制の構築	○			○
10	避難所運営マニュアルの作成			○	
11	災害時要援護者の避難支援			○	

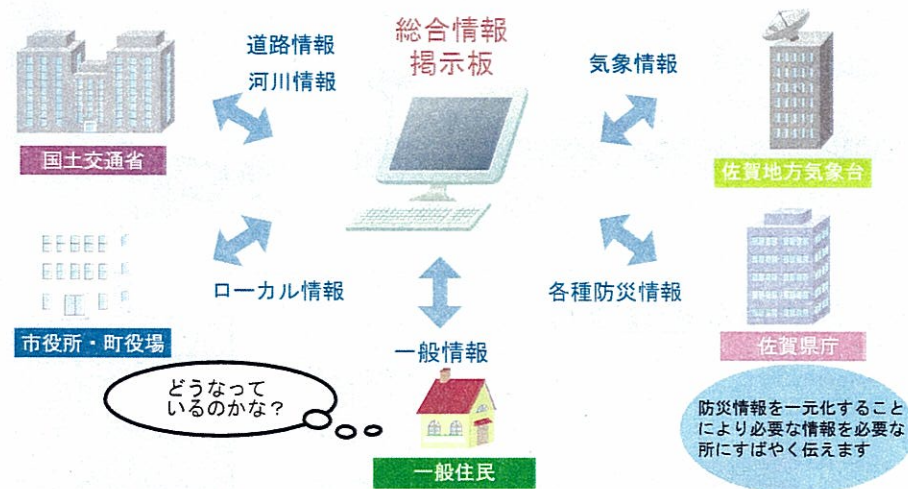
②広域応援・緊急輸送路ネットワーク

番号	項目	参加連携機関			
		国	県	市町	民間
1	地域高規格道路等の河川堤防の接続	○	○		
2	一般道路の路面高確認	○	○	○	
3	河川管理用通路の確保	○	○		
4	防災ステーション等の整備	○	○	○	
5	SA、PAでの接続ポイント		○	○	○

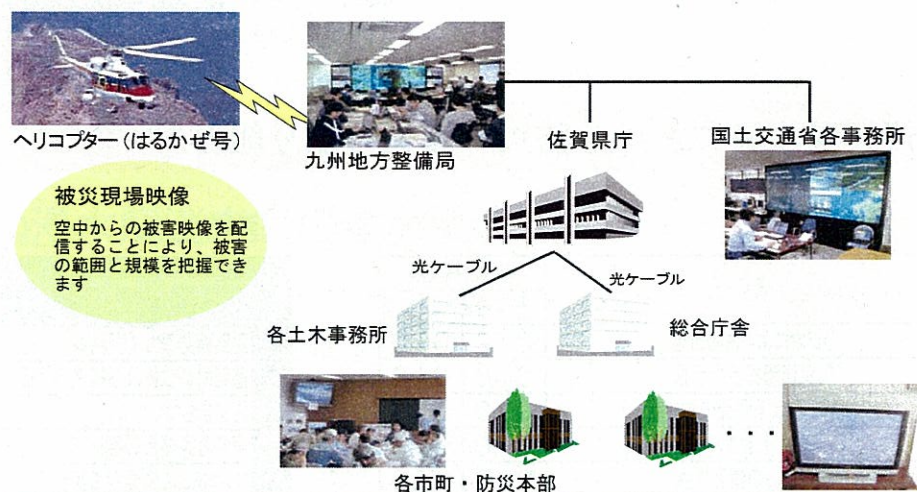
危機管理対策 ①情報収集・伝達

洪水や高潮等の災害発生時には、電力供給設備や電話等の通信設備の障害発生により、電話の不通や停電などの可能性があります。そのため、住民の状況に応じた多様な情報伝達手段の整備を行います。

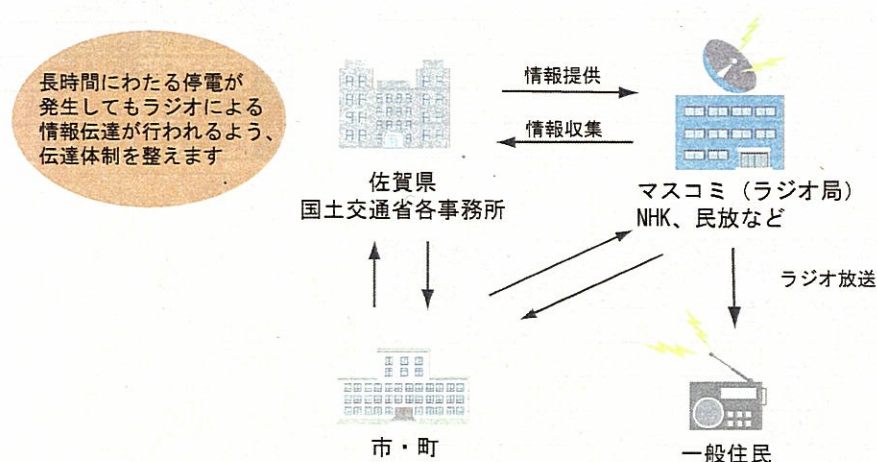
防災情報総合掲示板



ヘリテレによる画像の生中継



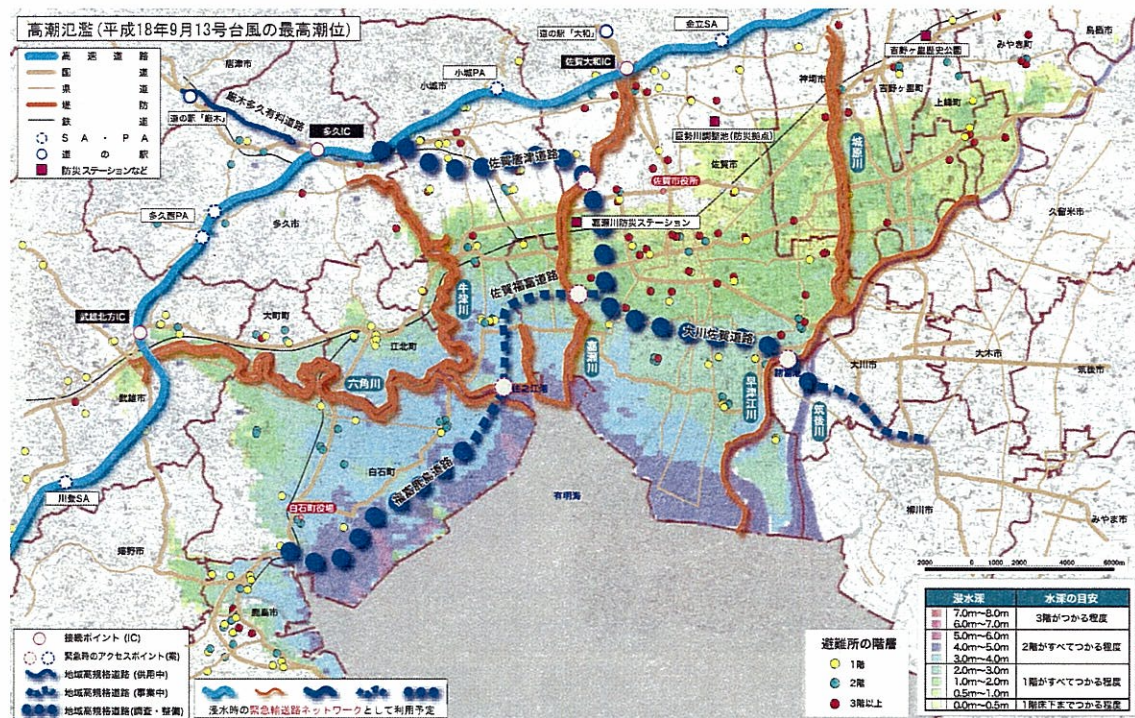
ラジオによる情報伝達



災害の危機レベル

危機管理対策 ②広域応援・緊急輸送路ネットワーク

道路高の比較的高い地域高規格道路と河川堤防を接続することで、**浸水時の緊急輸送路ネットワークが強化**されます。その結果、**早期の復旧作業、迅速な避難誘導、食料等の物資の支援が可能**となります。



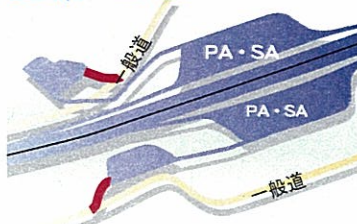
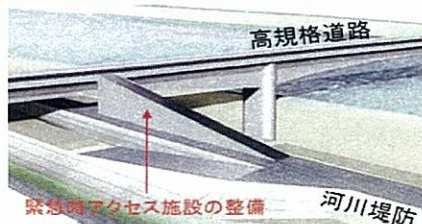
主な施策

□ ■ 防災拠点の整備 □ ■



防災ステーション等の整備(嘉瀬川防災ステーション・巨勢川調整池(防災拠点))
洪水等の際の緊急復旧や市民の避難誘導を行うための活動拠点として、
水防資材の備蓄、ヘリポート、水防センターなどを整備します。

□ ■ 緊急時のアクセスポイントの整備 □ ■



地域高規格道路等と河川堤防の接続イメージ

平常時は使用しませんが、緊急時に資機材の輸送や復旧作業を迅速に行うために、
通行可能とできるように検討しています

高速道路と一般道の接続イメージ

危機管理対策 ③連携強化

防災まちづくり

いざという時のために活用する避難場所や危険箇所など、地域の防災情報が入った地図、「マイ防災マップ」の作成を支援しています。



マイ防災マップ

訓練『平成22年6月6日多久市防災避難訓練』



『佐賀平野大規模浸水危機管理検討会』協力連携機関

民間

NPO法人技術交流フォーラム
九州防災エキスパート会、西日本高速道路(株)*
九州電力(株)、NTT西日本(株)、佐賀ガス(株)

市町

佐賀市*、白石町*、多久市、武雄市、鹿島市
小城市、神埼市、吉野ヶ里町、上峰町
みやき町、大町町、江北町

県

佐賀県*、佐賀県警察本部

国

佐賀地方気象台、陸上自衛隊*、唐津海上保安部*
国土交通省
武雄河川事務所*
筑後川河川事務所*
佐賀国道事務所*
嘉瀬川ダム工事事務所
国営吉野ヶ里歴史公園事務所

*: 検討会参加メンバー

問い合わせ先



国土交通省 九州地方整備局
武雄河川事務所

TEL (0954) 23 - 5151 (代) FAX (0954) 23 - 5191
ホームページ <http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/>